



航空図書館で新たな取組みを始めます

航空図書館は全国でも唯一の航空宇宙に関わる専門図書館として一般財団法人日本航空協会が運営を行っています。1919年に前身である帝国飛行協会に設けられた「飛行文庫」から発し、現在は航空会館6階にて、蔵書は約5万冊(倉庫保管分を含む)、IATA等が発行する統計資料やここにしかない貴重書から、エアラインの機内誌のような柔らかい内容のものまで洋書・和書を問わず航空宇宙に関わる図書を収蔵しています。

この度、航空図書館をより利用して頂けるよう、以下の取組みを始めます。
みなさまの一助となれるよう努めていきますので、是非、ご来館・ご利用ください。

1. 図書館での相談対応の強化

従来の航空図書のレファレンスサービスに加え、航空に詳しいスタッフが利用者の様々な疑問や、研究調査、進路相談、取材協力等に対応致します。

(最近の一例)

- ・卒論に関わる参考図書探し、就職先としての航空業界へのご質問など(大学生など)
- ・出土した航空遺産の調査協力(地方自治体、博物館など)
- ・古い航空関係の写真の調査協力、物語の時代考証などの協力(新聞社、出版社など)
- ・ドラマ番組制作協力(大手放送局など)



2. 推薦図書コーナーの充実

航空宇宙の様々な分野で、スタッフ一押しの本をポップ付きで紹介するコーナーを充実させます。(順次実施中)

3. ホームページの改善、検索システムの導入

利用者から要望の高かった検索システムの導入を始め、ホームページでの情報発信を強化します。(2020.2.3～予定)

4. 図書館入口をランウェイ(滑走路)に

とかく地味な図書館ですが、少しでも航空の専門図書館に来館した気分を高め、SNSにも取り上げてもらえるよう、入口に滑走路を模擬したカーペットを設置します。



以上